

市P連「ラモーナの会～子どもの本を読む会～」

令和6年7月9日(火)・10日(水)



7月9日(火)9時30分、10日(水)19:00より、市役所7階会議室にて、市P連読書会、第23回「ラモーナの会」が行われました。今回は、昨年度より多い、40名ほどの方が参加されました。

「ラモーナの会」は、子どもに読書を好きになってほしいと願う保護者が、学年ごとに課せられた課題図書を読み、グループに分かれて本の感想や疑問を語り合う集いです。今回の課題図書は小学校低学年向けの「なまくらトック」、高学年向けの「百まいのドレス」、そして中学生向けの「穴」でした。参加者は、課題図書を読んだ感想の発表、意見交換を積極的に行っていました。

講師の大塚清美先生は、「子どもの本を読むことは、子どもを理解し、より良い子育てをするために役立ちます。また、自分の子ども時代を振り返り、大人として自分の人生を考えるきっかけにもなります。優れた子どもの本は大人にも楽しさと喜びを与えてくれます。」と述べています。また、読んであげることのよさについて、「耳から聞く読書は大事で、読みとばしはできるけれど、聞きとばしはできない、きちっとできた読書には無駄がないので、ぜひ読んであげてください。」と、読書の大切さについて話してくださいました。

<文責>市P連広報委員 黒松日高(貴船小)